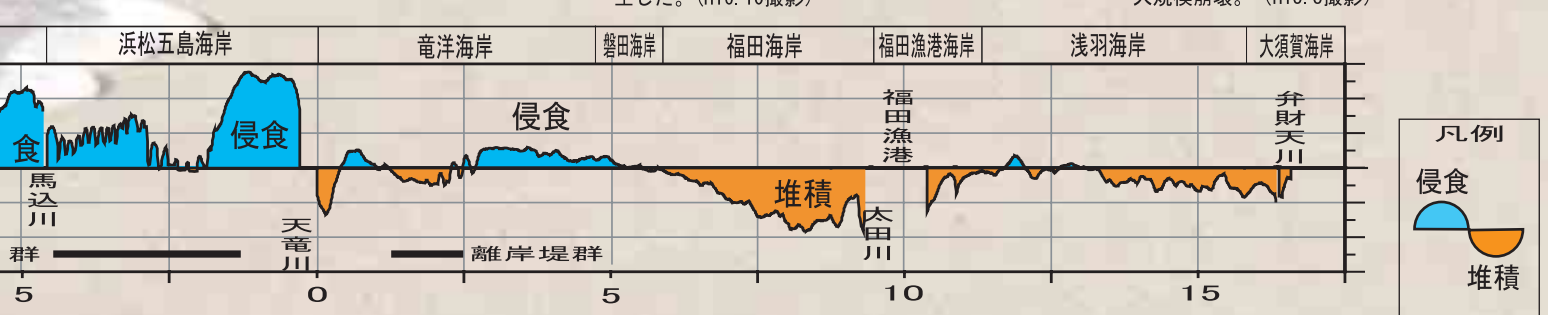


海岸侵食

新居海岸、中田島海岸、五島海岸、竜洋海岸、浅羽海岸、大浜海岸などで砂浜が急激に後退しています。



住民との協働による対策の推進

御前崎市から湖西市に至る遠州灘沿岸には131万人の方が住まれ、さまざまな形で海岸との関わりを持っています。こうした沿岸において適切に土砂移動のバランスを図るためには、沿岸に住む住民の方々の理解と協力が不可欠です。

- このため「技術検討会」を公開で開催するとともに、検討経過を「海岸シンポジウムによって積極的に情報提供しております。
- こうした情報をもとに住民の参加する地域ごとの「海辺づくり会議」で地域ごとの課題を踏まえて議論します。
- シンポジウムや海辺づくり会議での意見は、技術検討会に返され、対策案に反映されていきます。



静岡県は、知恵による価値の創造と、さまざまな分野の人々が力を合わせて活動する協働により、美しく雄大な富士山のように、物心両面の豊かさを持ち、世界のために社会に貢献する志を持った人々が活躍する魅力ある地域社会の実現を目指します。

静岡県 創知協働
しずおかの挑戦。

静岡県 河川海岸整備室
土木部 港湾整備室
農業水産部 漁港整備室
農業水産部 農地保全室

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6
TEL: 054-221-3037
(河川海岸整備室ダイヤルイン)

静岡県ホームページ
<http://www.pref.shizuoka.jp/>

平成18年2月作成

美しい遠州灘海岸を守るために

遠州灘海岸は母なる天竜川にはぐまれた、東西117kmにおよぶ、わが国有数の美しく豊かな砂浜海岸です。しかし、近年沿岸各地は侵食によって危機的な状況に直面しています。

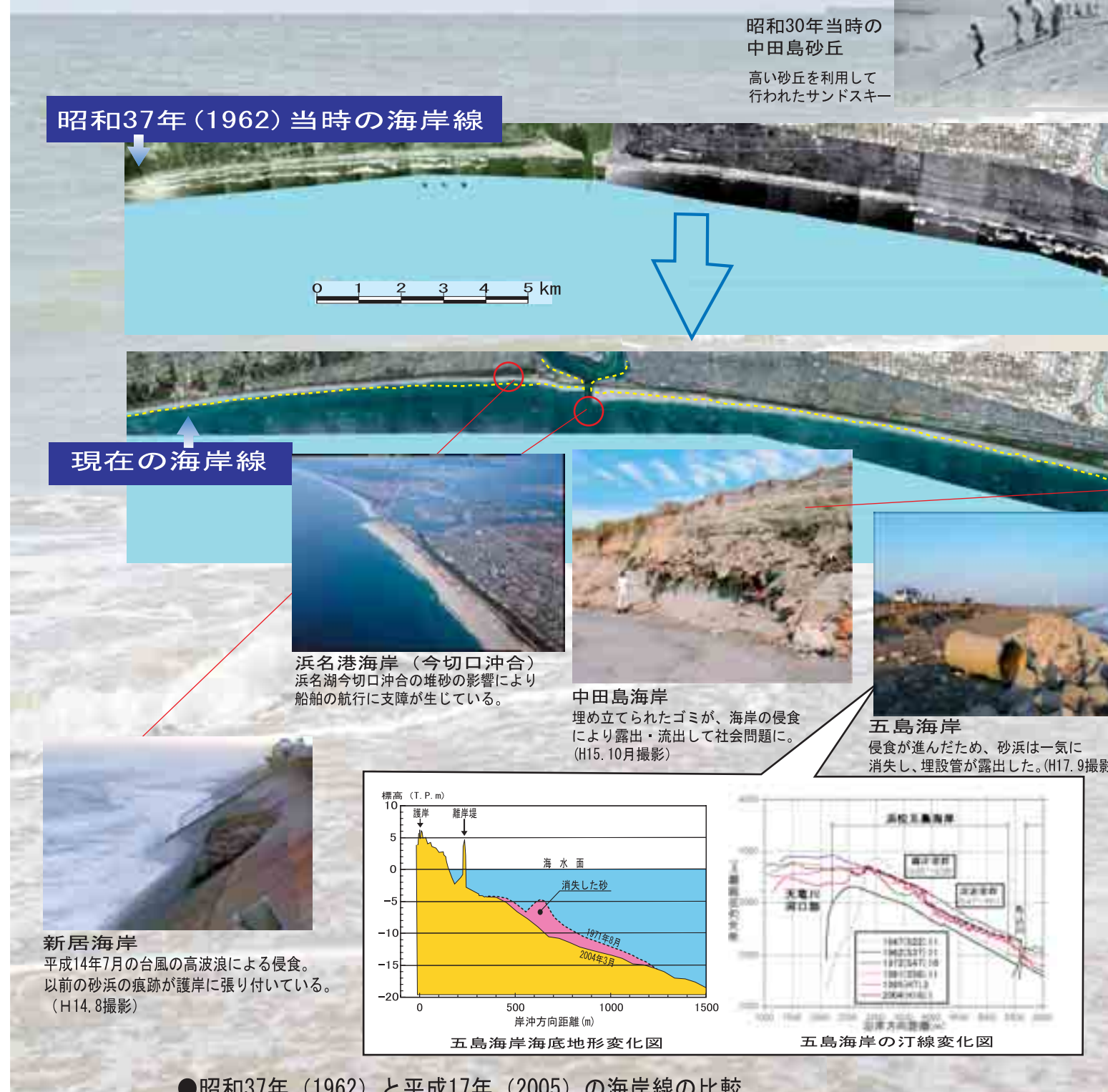


静岡県

マリンスポーツ

遠州灘各地で進む急激な

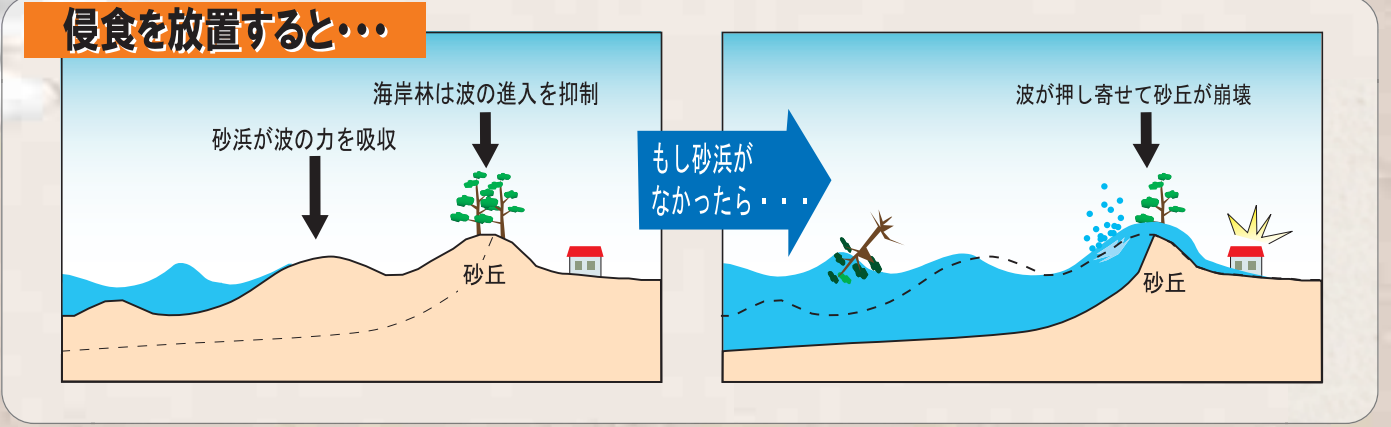
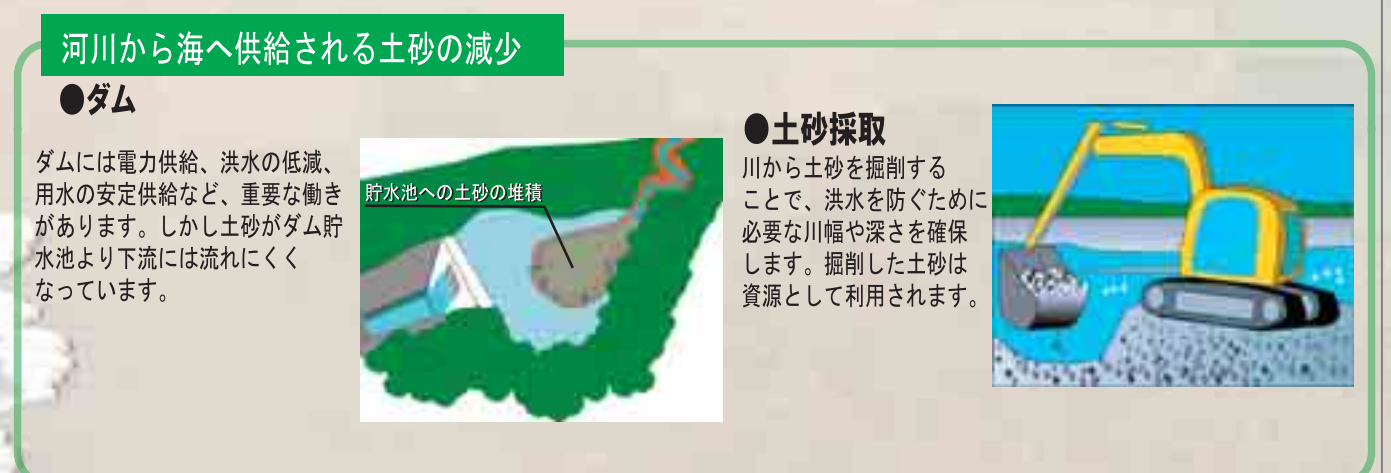
遠州灘の砂浜がかつてないほど急激に侵食されています。この現象は近年特に顕著です。広大な砂浜が減少したことにより、災害に対する安全度が低くなってきています。



静岡県

なぜ、海岸侵食が起きるのか？

河川から海岸への土砂供給の減少と、突堤など海岸構造物により土砂の移動が阻害され、侵食が生じます。



静岡県取り組みと目指すべき方向

著しい侵食への緊急的な対応と、広域な視点での土砂移動のバランスを図るための対応を検討しています

静岡県の取り組み

遠州灘沿岸侵食対策検討委員会

海岸侵食の問題は天竜川から東西沿岸にわたる土砂移動にかかわるものであるため、広域な視点での対策の立案が不可欠です。このため専門家や行政担当者などで構成される検討会を設置し、下記項目に取り組んでいます。

1. 沿岸の土砂移動のしくみの解明
2. 沿岸全体の土砂移動のバランスをとる対策の策定
3. 関係者による情報の共有と連携

土砂移動の実態の把握

遠州灘沿岸の砂の動きを解明するために必要な情報を継続して収集しています。

- 海岸地形の変化を把握するための継続的な深淺測量の実施
- 海岸線の変化を把握するための継続的な空中写真の撮影

局所的な土砂移動のバランス回復

- 浜名湖今切口沖合いに形成された浅瀬の影響により船舶航行に支障が生じています。浅瀬を除去する緊急的な浚渫と併せ、侵食の進む新居海岸への砂の供給を実施しています。
- 福田漁港～浅羽海岸において恒久的なサンドバイパスシステムの実施に向けて技術的な検討を進めています。

サンドバイパスのイメージ

侵食が著しい箇所への緊急的対策

- 河川事業との連携による養浜
侵食の著しい海岸への河川からの土砂投入
- 被災した海岸施設の復旧
被災した海岸背後の安全性を確保するための復旧作業

〔天竜川～中田島海岸〕 〔仿僧川～浅羽海岸〕 〔竜洋海岸〕 〔五島海岸〕

目指すべき遠州灘海岸の姿

